

一般社団法人

相続太郎

SOUZOKU-TARO

あいたた
たたたた

大丈夫!?
お母さん!

最近お母さん
体調悪いな、
もう年だもんね

ほんとに
大丈夫?

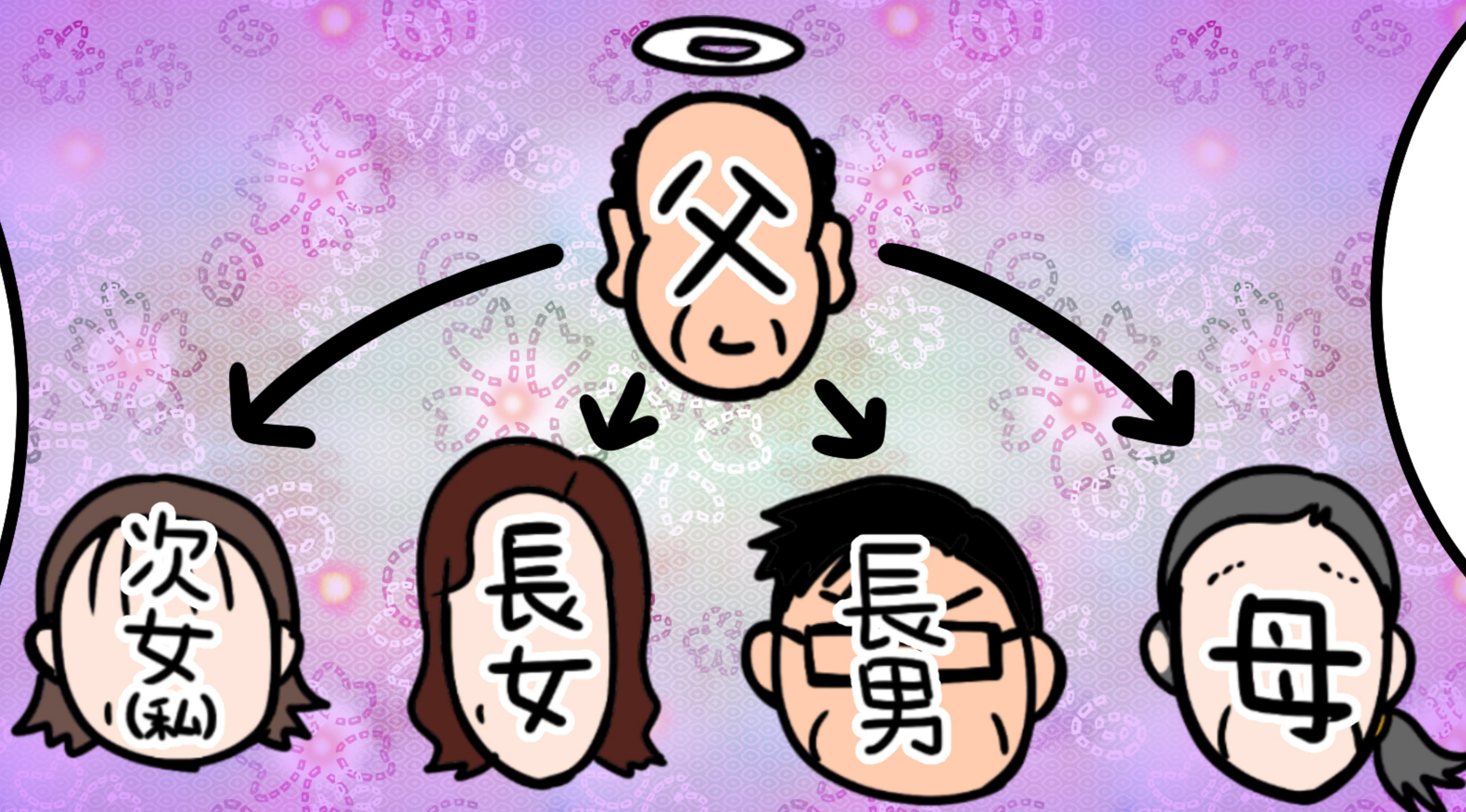
大丈夫、大丈夫
大したことないから
薬飲むから
お水ちょうだい

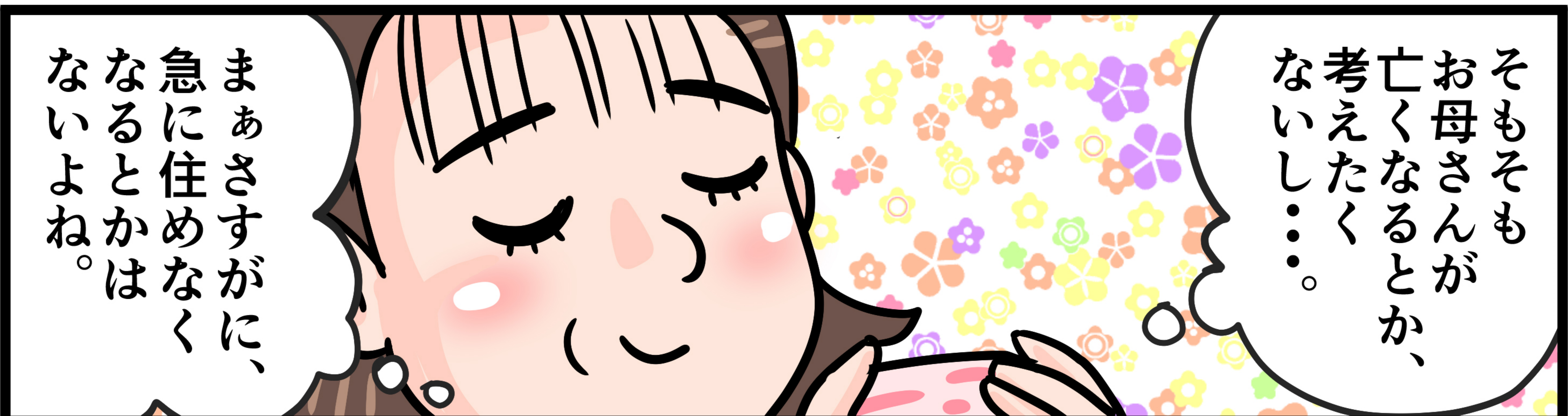
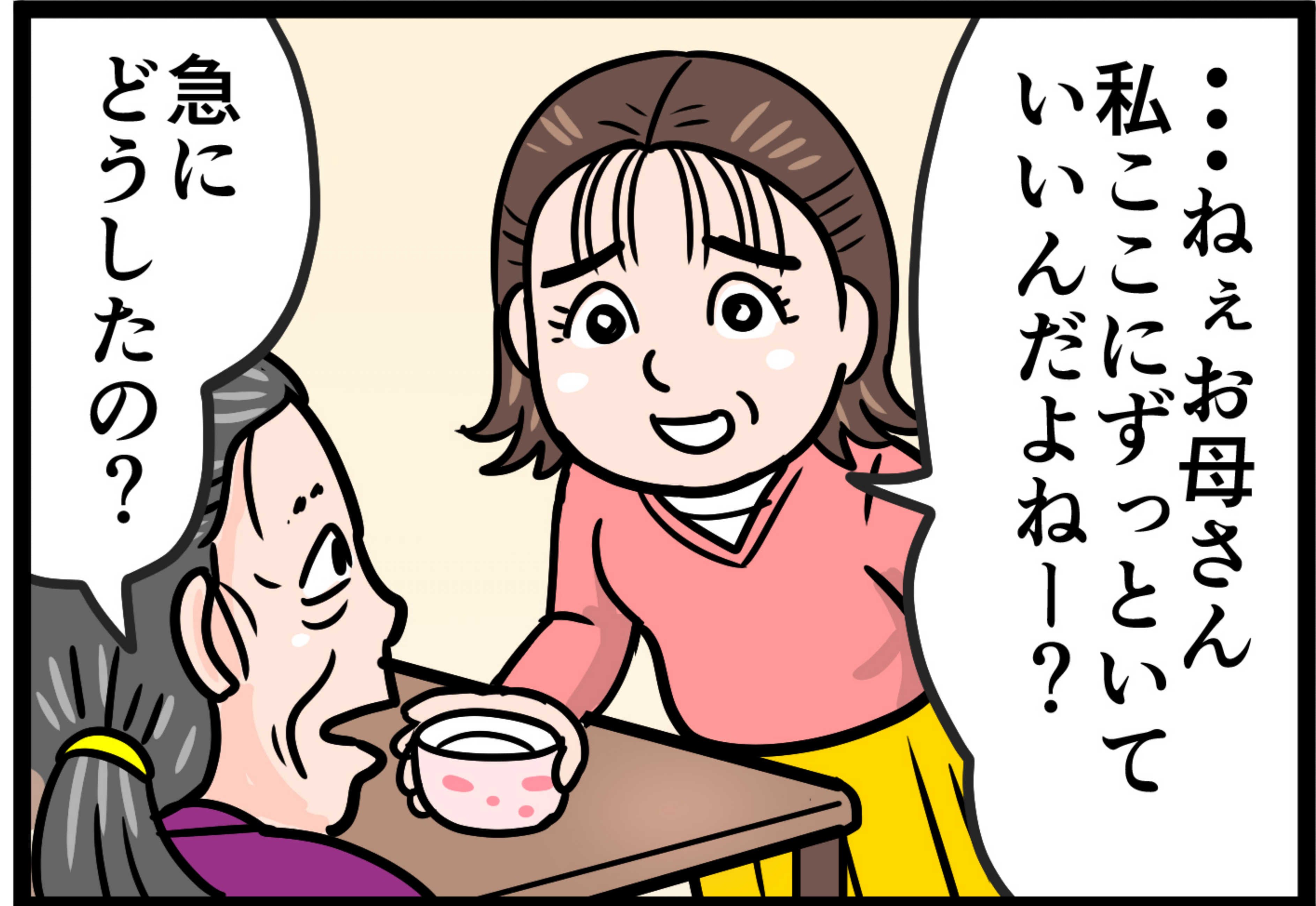
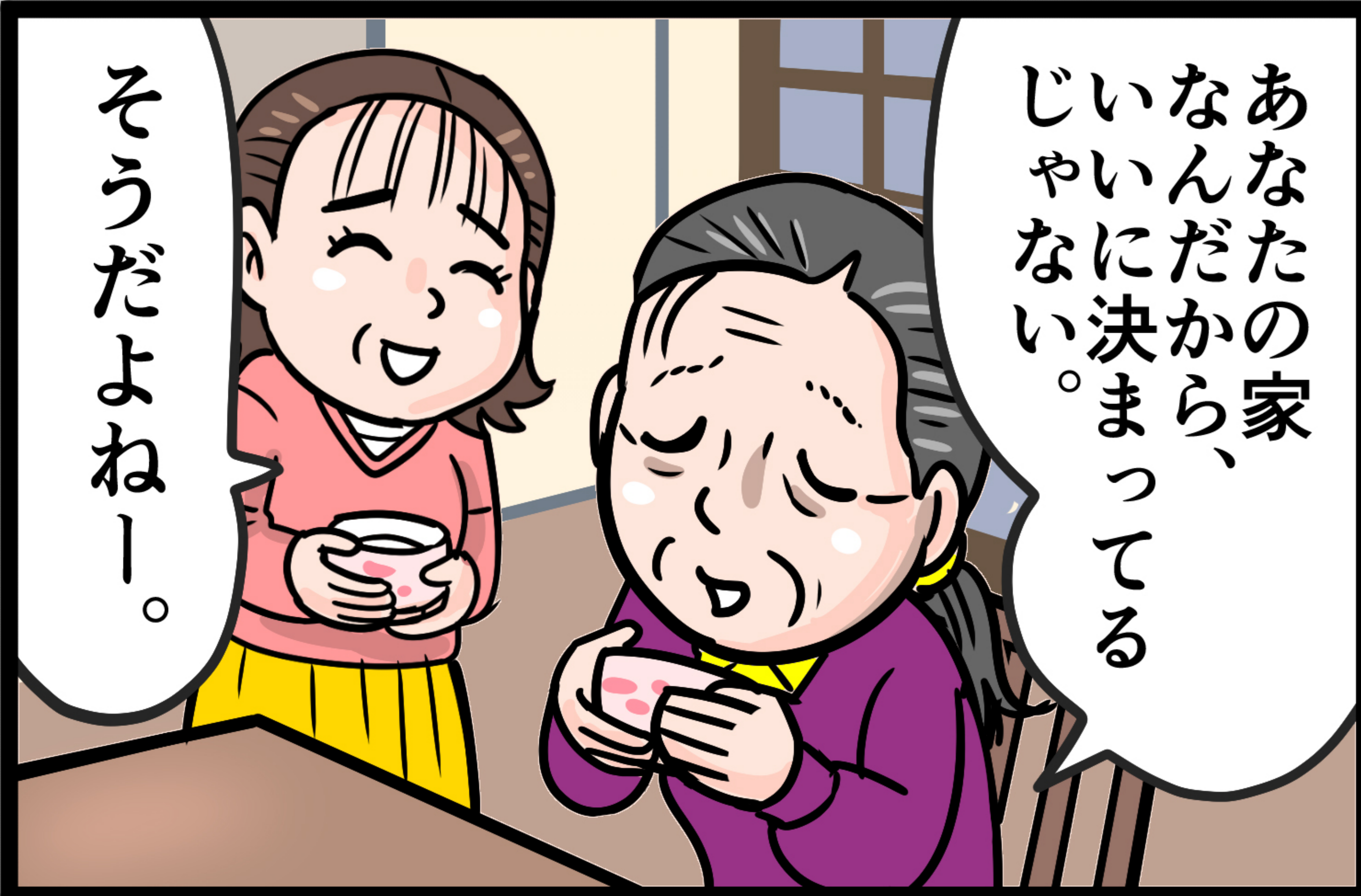
そういえば、
お母さんがら
亡くなったら

この家って
どうなるん
だろう?

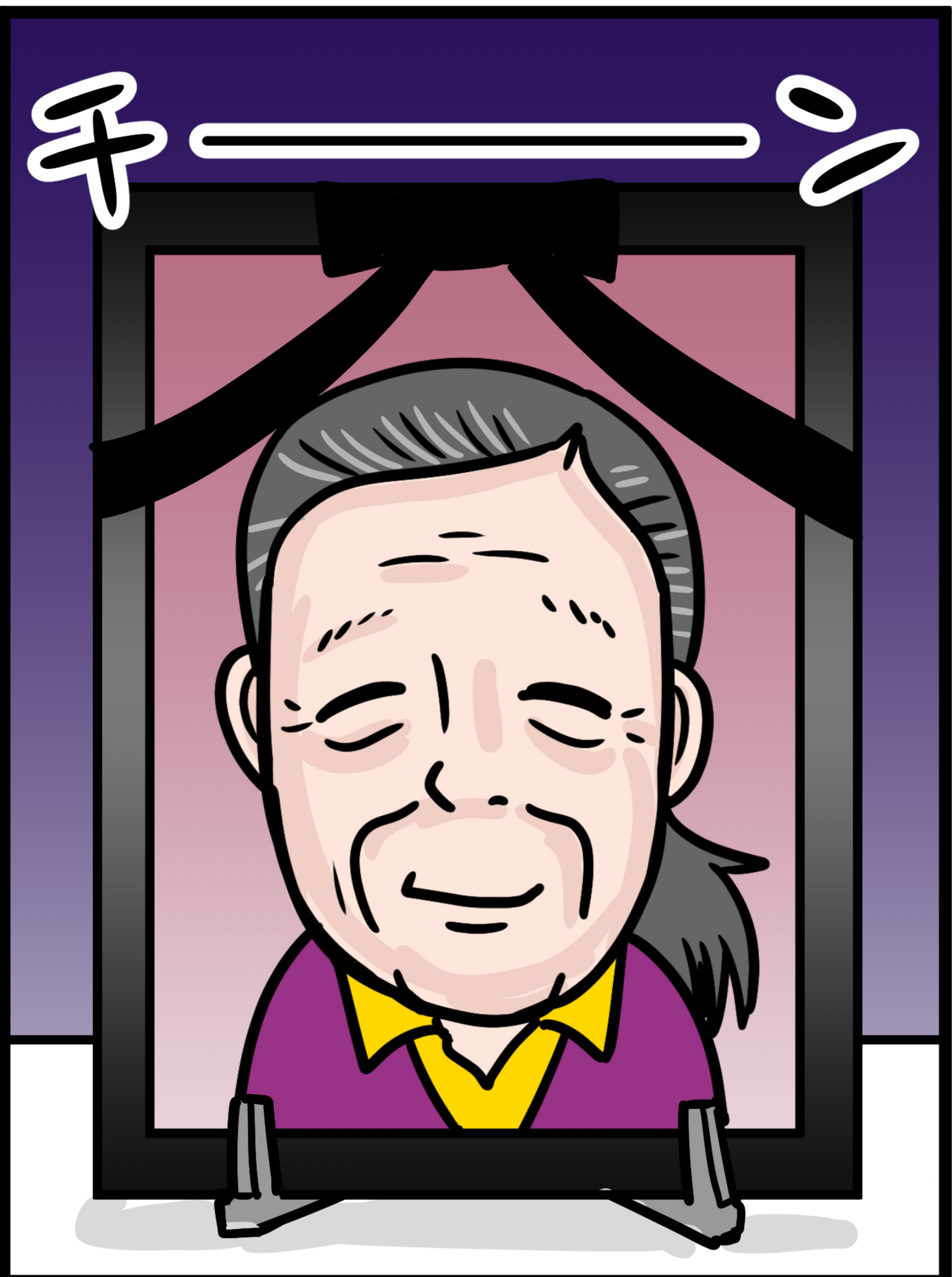
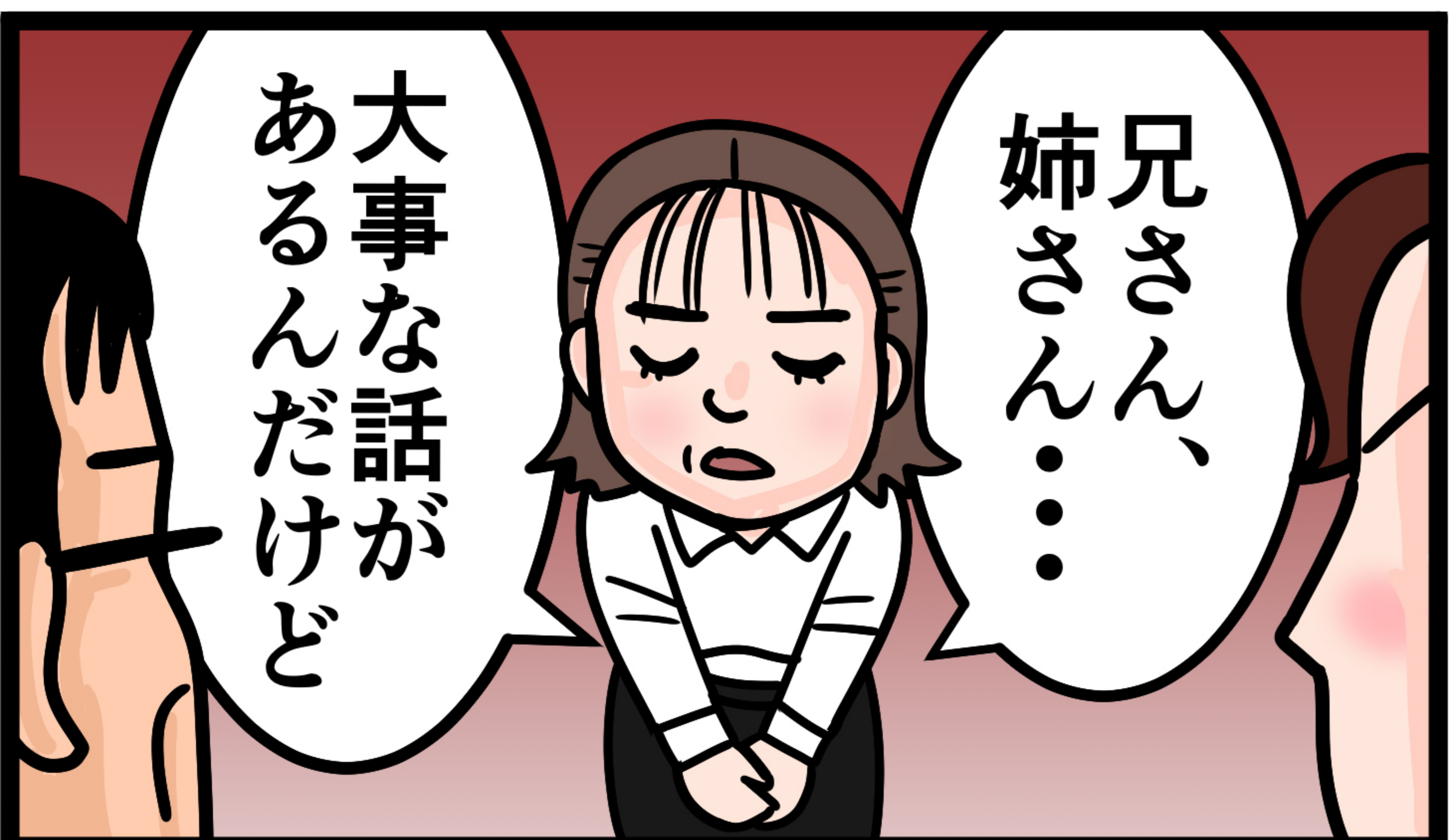
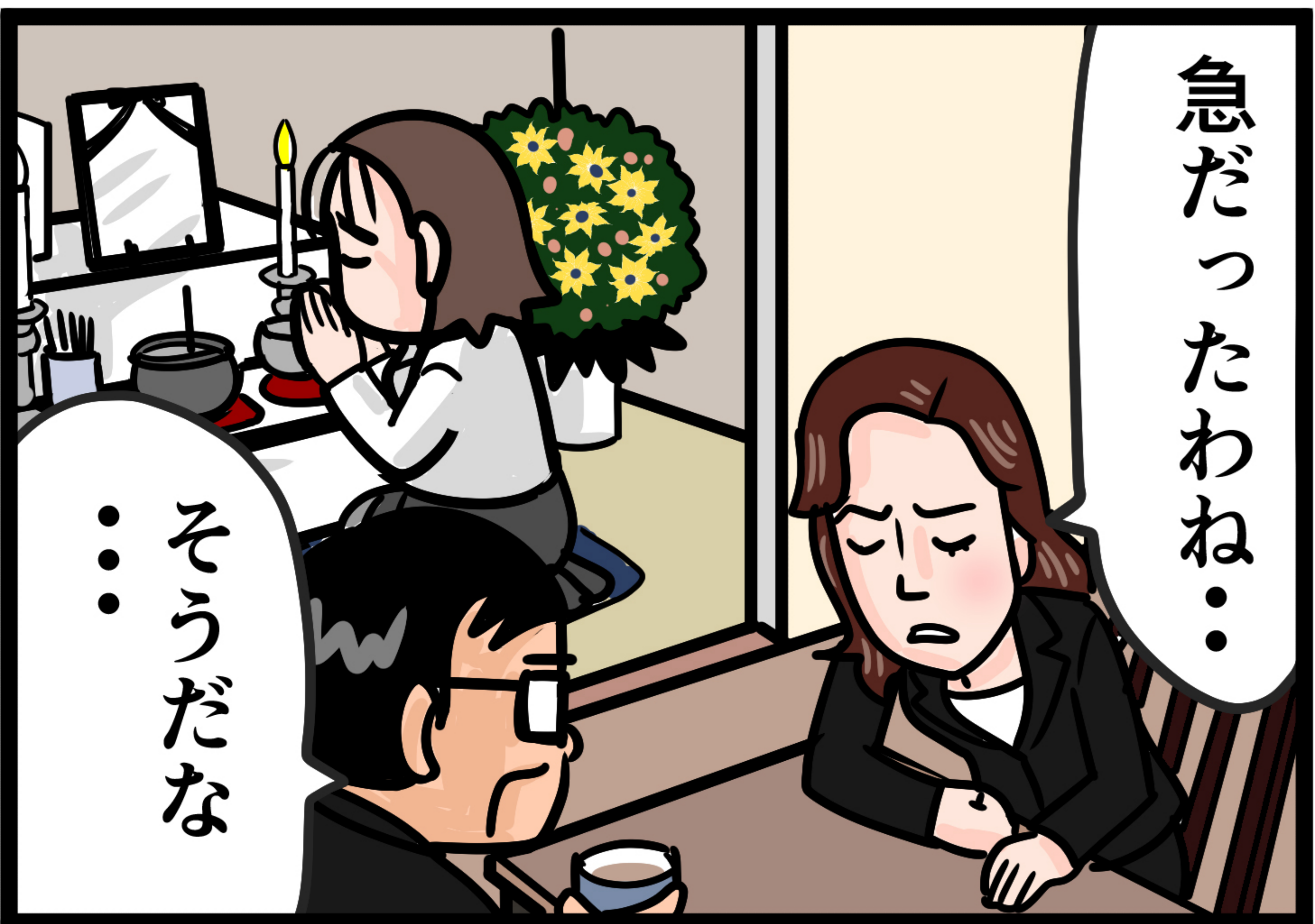
お父さんの
相続の時
どうしたっけ?

みんな
分けたよ
うな
気がす
るけど...





2ヶ月後…



私、離婚して出戻って、もう10年近くここに住んでるし

このままこの家を相続したい！

はあ!?

何勝手なこと言ってるの!?

お母さんの財産のメインはこの家の不動産なんだぞ

それをお前が相続したら、俺たちの取り分がないじゃないか。

私も、法定相続分はもらおうつもりよ。

でもお母さんからずっとこの家に住んでいいって言われたのよ？

その証拠はあるの？書面とか。

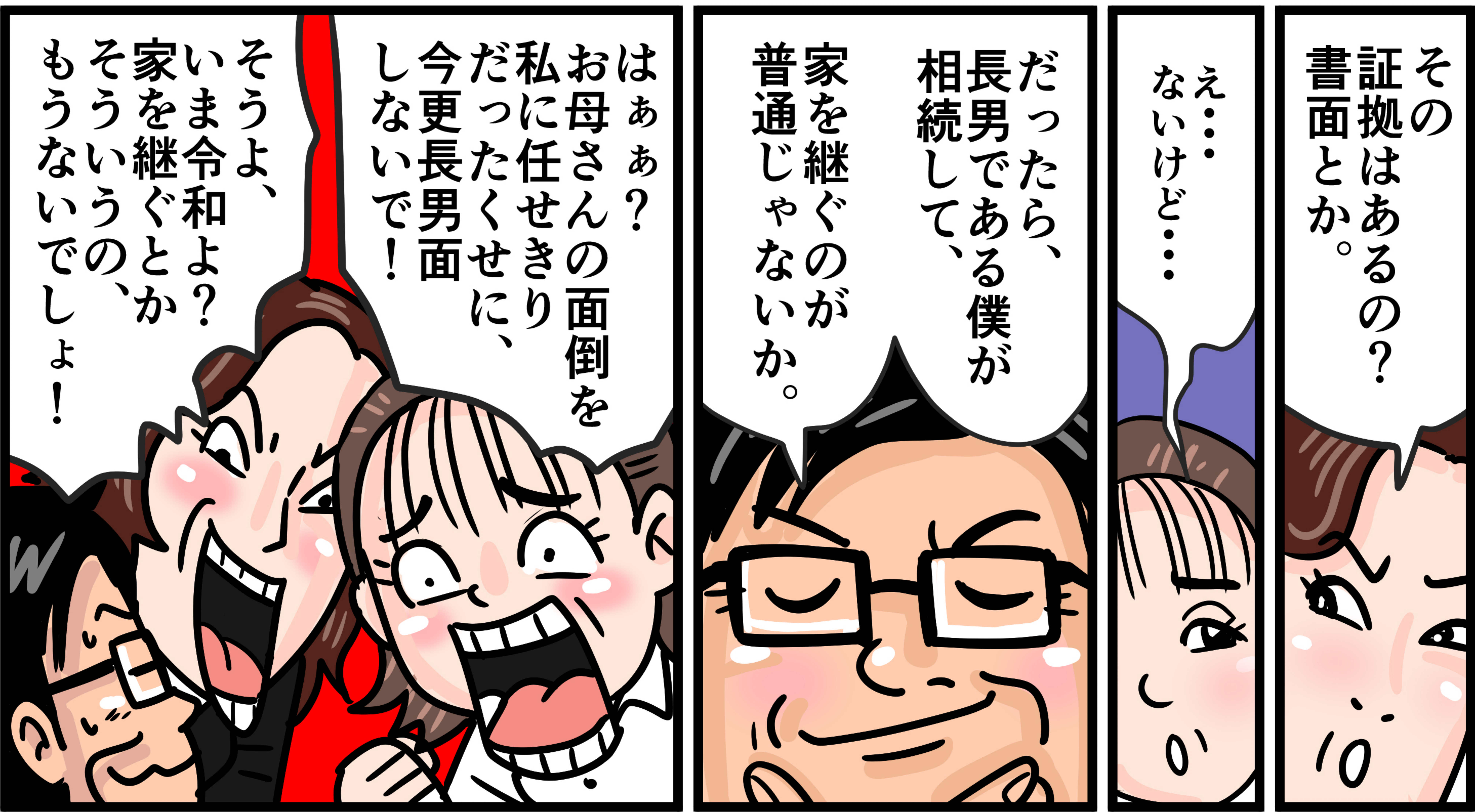
え...ないけど...

だったら、長男である僕が相続して、

家を継ぐのが普通じゃないか。

はああ？お母さんの面倒を私に任せきりだったくせに、今更長男面しないで！

そうよ、いま令和よ？家を継ぐとかそういうの、もうないでしょ！



長女さんから
この土地の持分を
譲り受けた者ですよ。



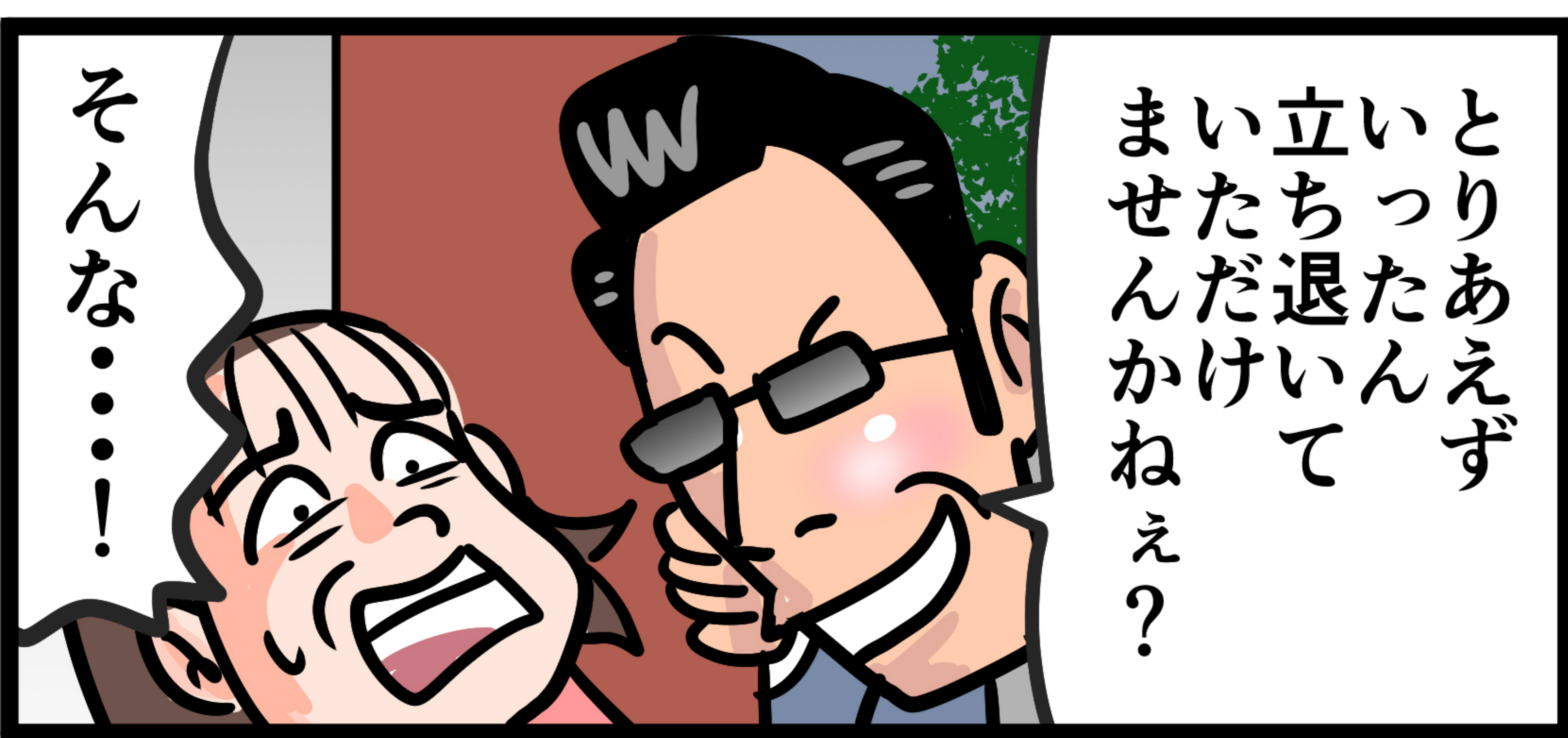
え!?

我々も、
自分たちの持分の分は
ここを利用したいん
ですよ。



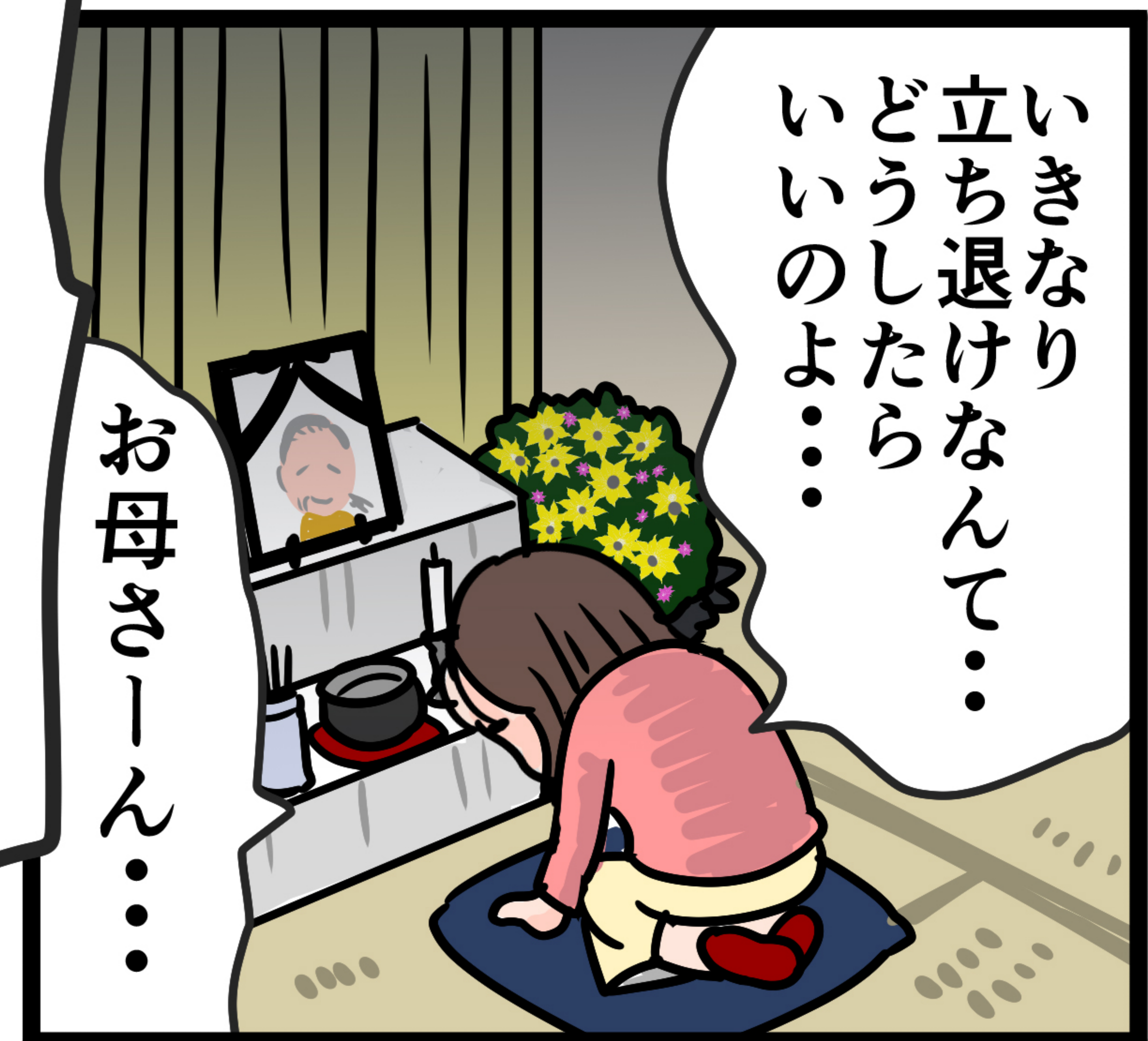
おひとり
で
占領しているなんて
ズルくないですかあ?

とりあえず
いったん
立ち退いて
いただけ
ませんかねえ?



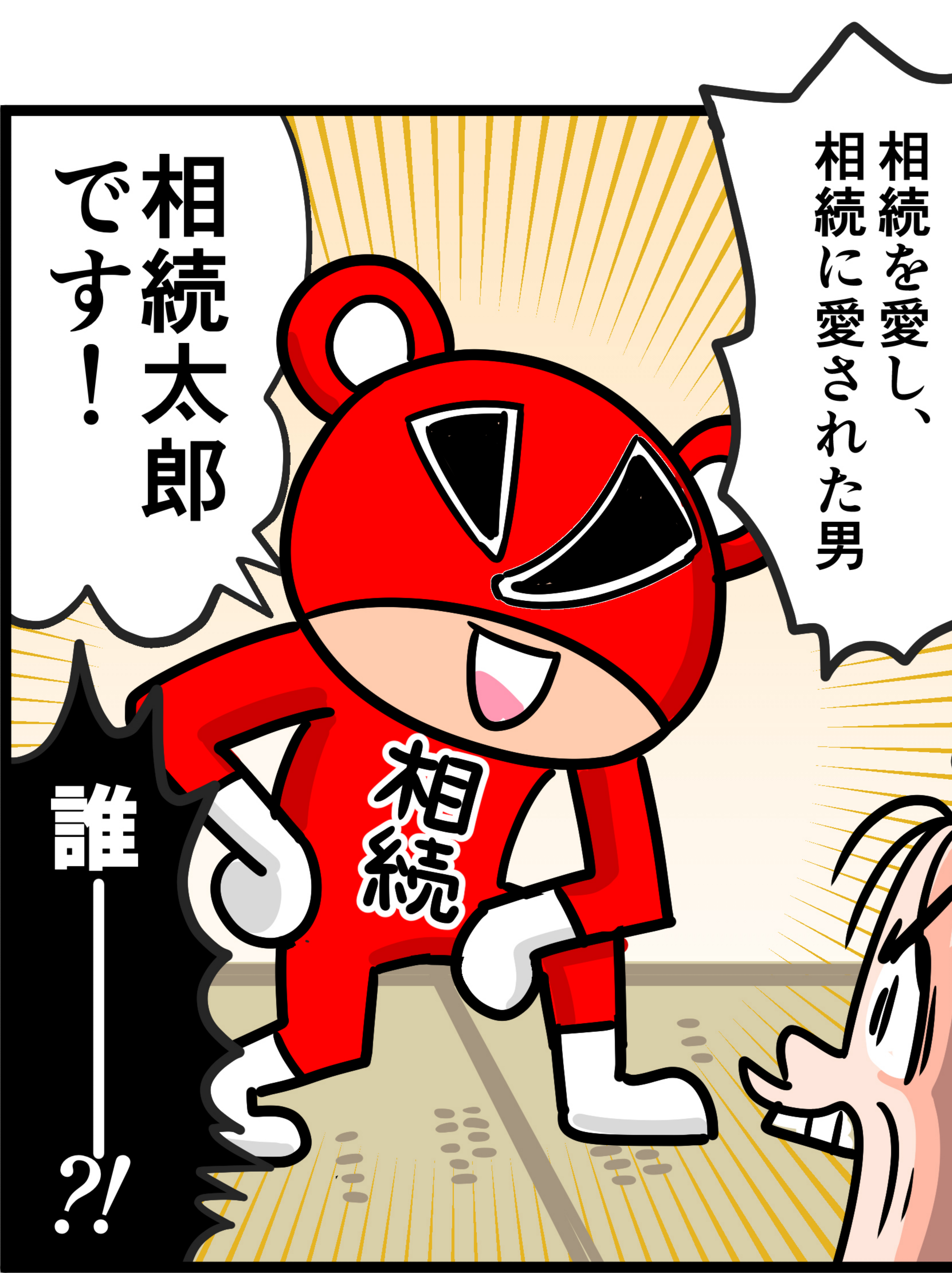
そんな...!

いきなり
立ち退けなんて...
どうしたら
いいのよ...



お母さーん...

相続を愛し、
相続に愛された男



相続太郎
です!

誰
?!

次女さん
元気出して



誰!?

そもそもその問題は、お父さんの相続の時に、不動産を全員で共有にしたことだね。

いや急になに!?

……そうなの?

君たち兄妹仲が悪いの、ひとつのものを一緒に持つていてうまくいくはずないじゃないか。

ケーキですら仲良く分けられたことないのに。

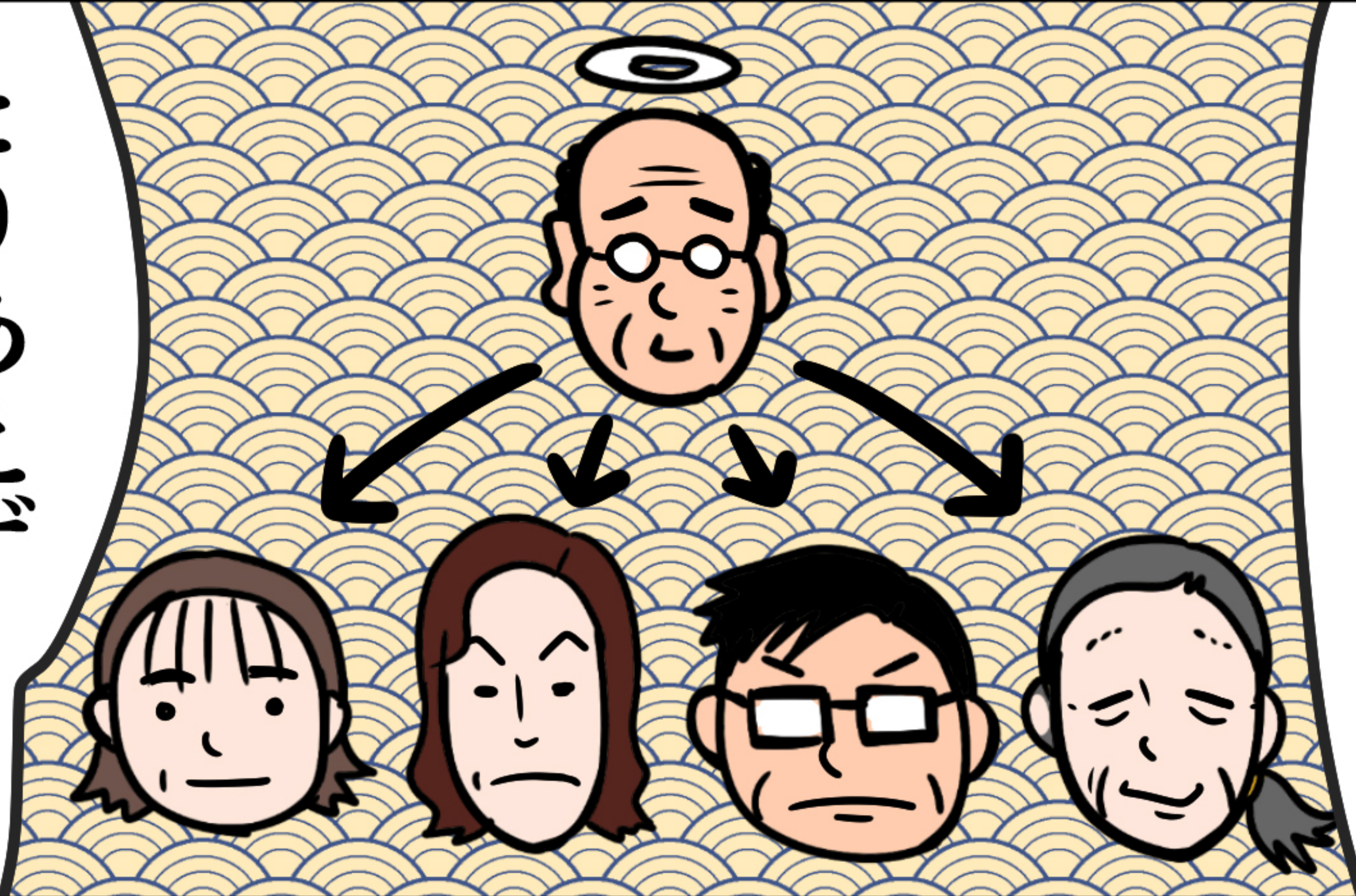
何で知ってるの?!

……そういわれれば、そうよねえ。

当時は専門家に相談しなかったの?

しなかったのよ。

とりあえず法定相続分で分けることで落ち着いたの。



それで話し合いもうまくいかなかったの?

相談すればよかったのに。

たとえばお母さんが全部相続しておけば、

税務的にももつと得だったし。

そうだったの!?! 私、何も知らなくて……

相続なんて一生のうちにも何回もあることじゃないから、知らなくて当然だよ。

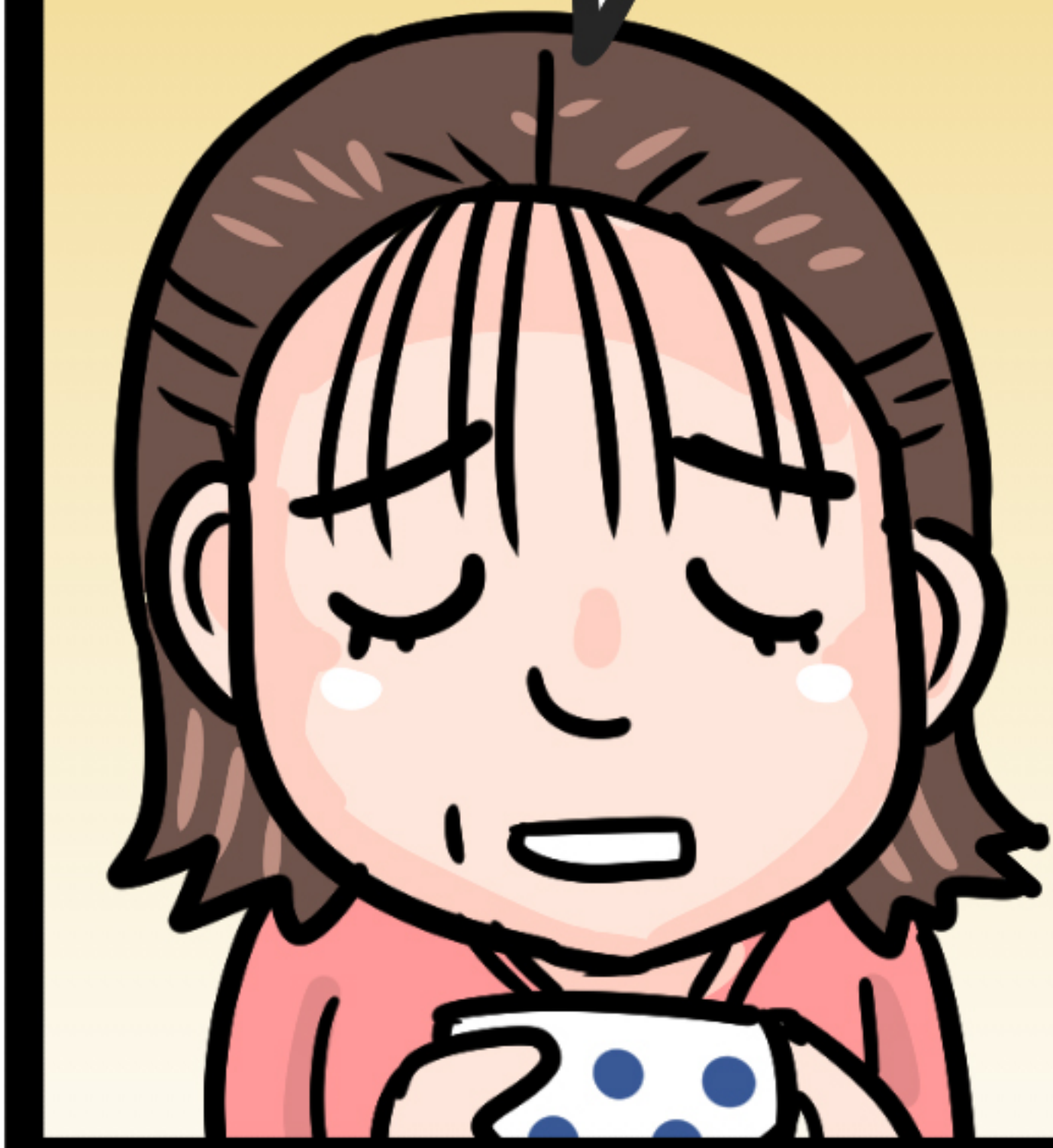
だから専門家に相談するといいのさ。

相

それと次女さんは、お母さんの生前に、相続のことと不安になっっていたよね。



そうね、家に住み続けられるのか心配してた。



だったらこれも事前に専門家に相談して、

お母さんにて遺言を書いてもらったらよかったね。

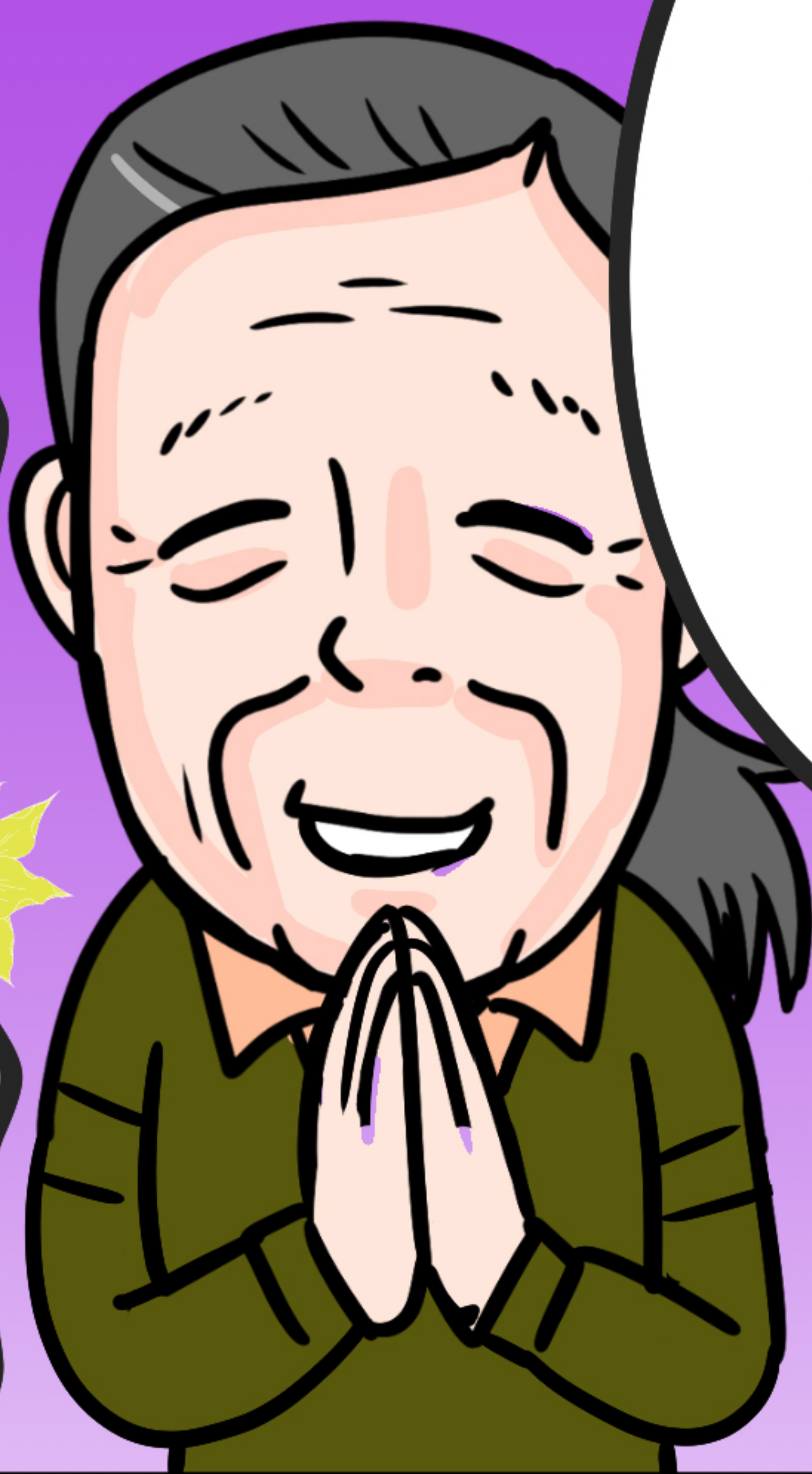


お母さんが生きているのに!?

そんな相談、縁起でもない!

気持ちわかるよ。

でもお母さんは、自分が亡くなった後に次女さんが困ることを望んでなかったはずだよ。



お母さん……(泣)

それに兄弟たちにとって権利はあるんだから、ふたりに納得してもらえないと。そうに対策しておかないと。それには時間が必要だよ。



そうよね……

さあ、それで、

次女さんはどうしたい？

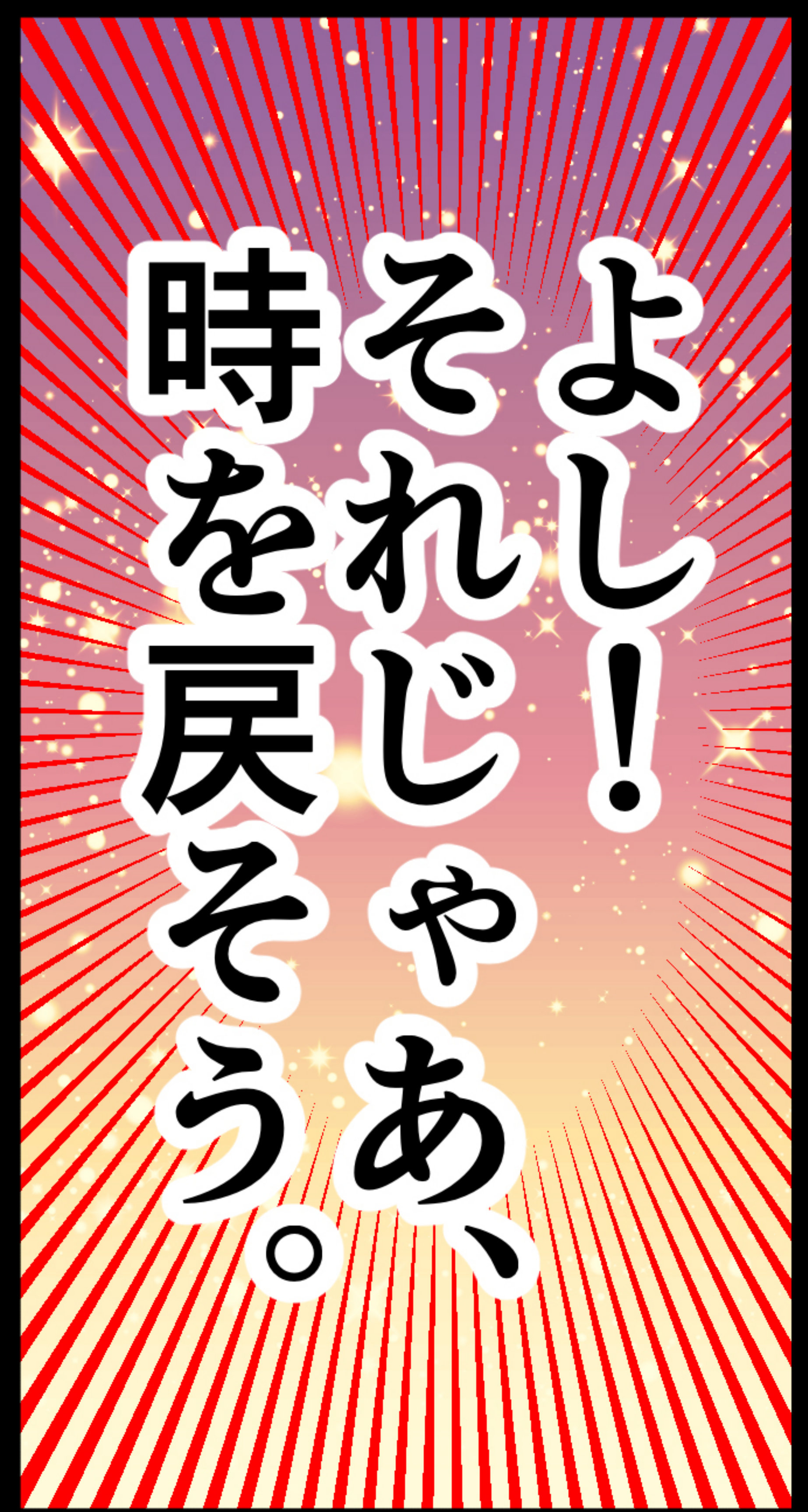


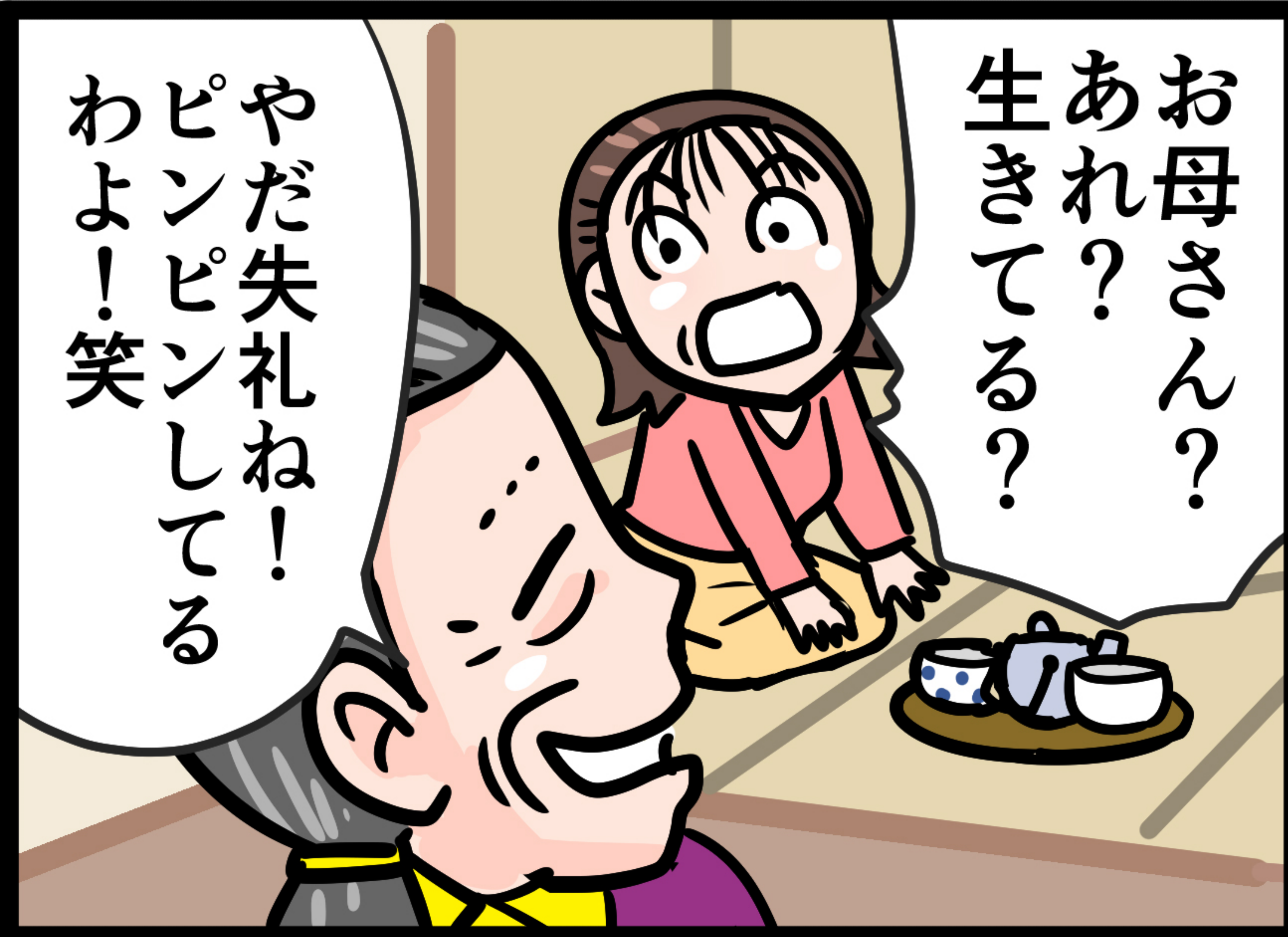
私は、お母さんと過ごした

思い出いっぱいなのこの家で暮らしたい!



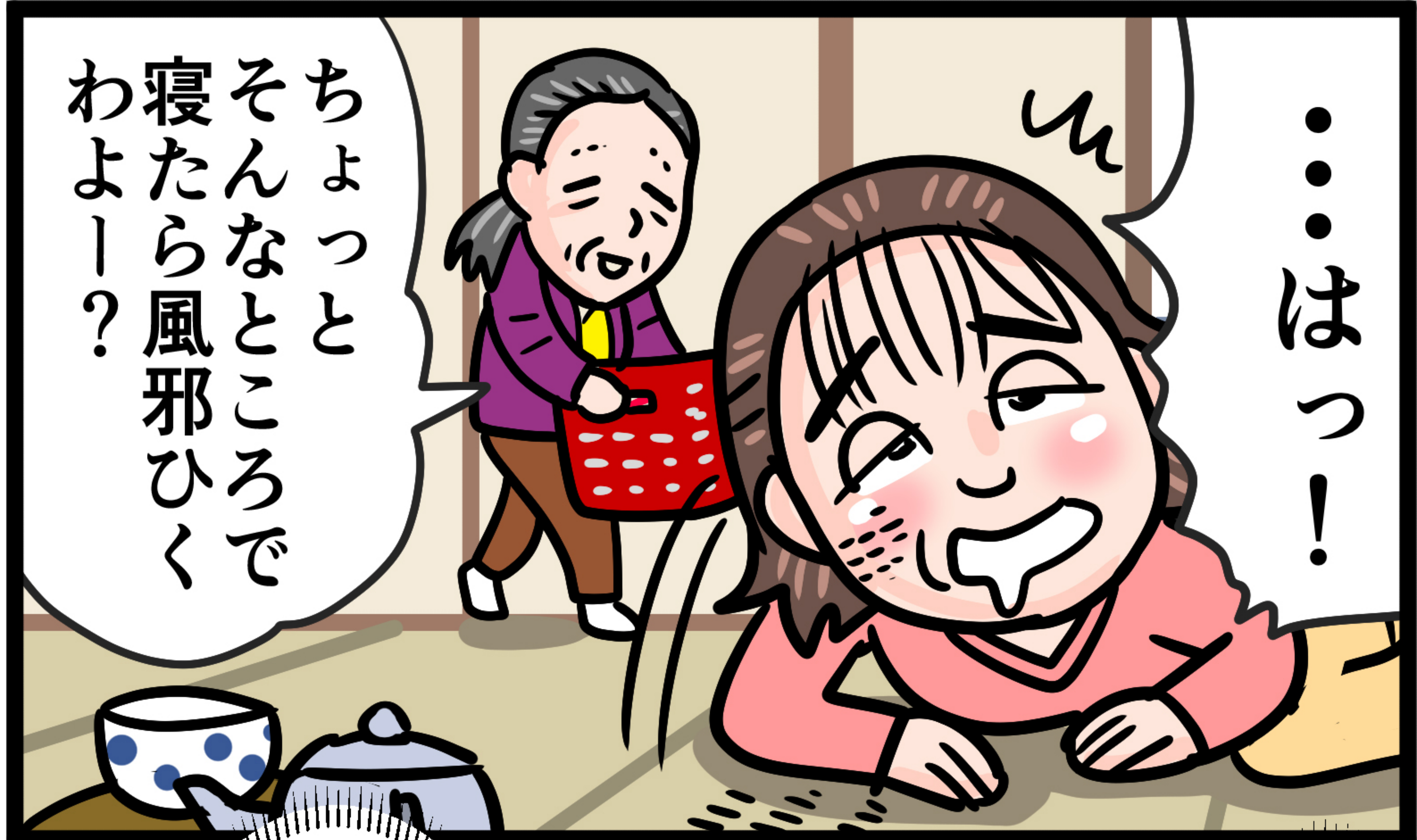
よし! それじゃあ、時を戻そう。





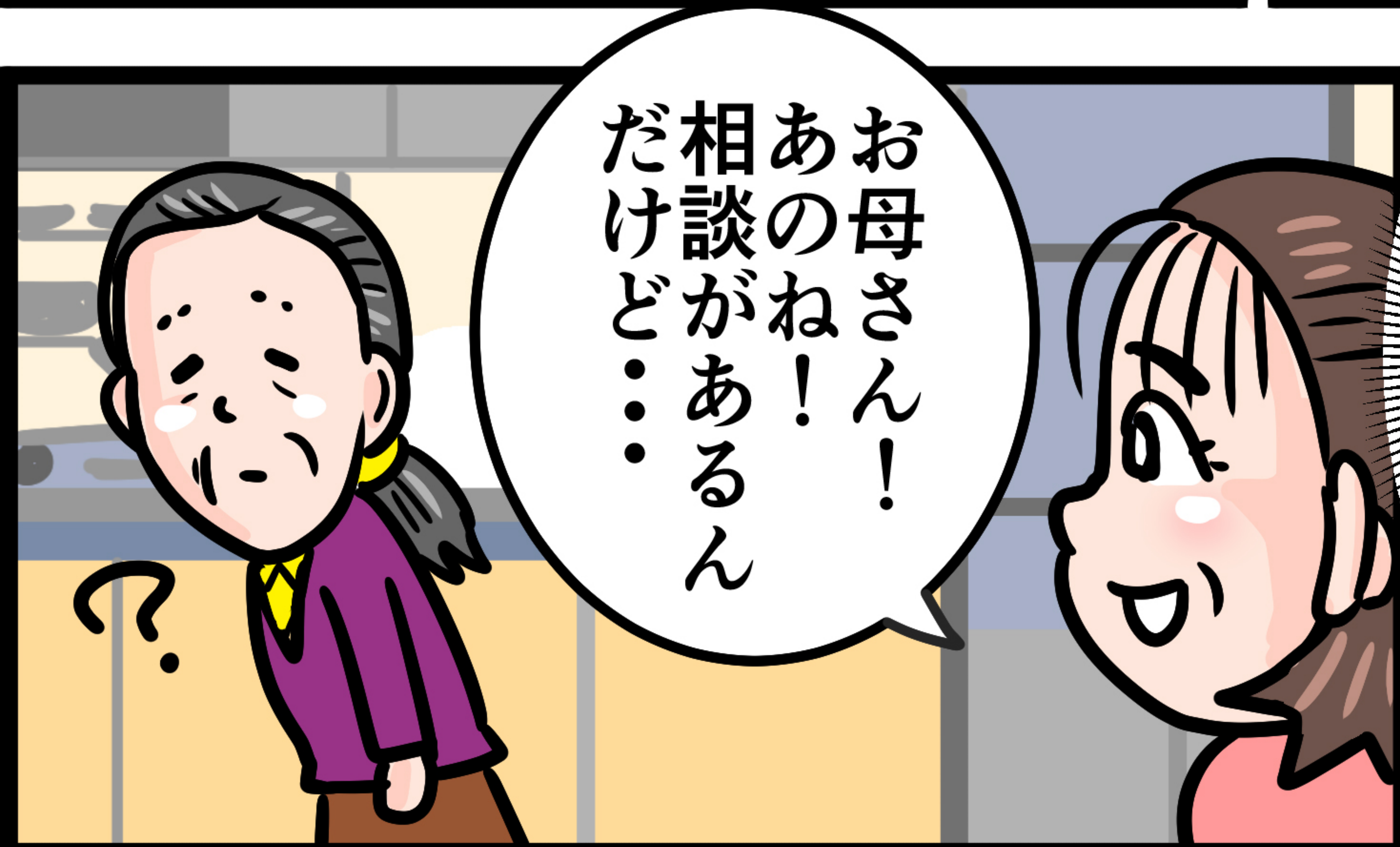
お母さん？
あれ？
生きてる？

やだ失礼ね！
ピンピンしてる
わよ！笑



ちよつと
そんなところで
寝たら風邪ひく
わよー？

・・・はっ！



お母さん！
あのね！
相談があるん
だけども...



いや、ここが
運命の分かれ道
なんだわ！

あれは
夢だったの？



次女は
母親の死後も
変わらずに家に
住み続けられた。
ことになった。

長男長女への
遺留分に
ついての
懸念も解消し、
全員が
納得した形の
遺言書を作成。



次女と母親は
専門家に相談へ。



相続に
不安を感じたら、
専門家に
相談しよう！

あなたの
思いに応じて、
専門家が
様々な方法を
提案して
くれるよ！